

1. 科目名（単位数）	社会福祉援助技術論特殊講義（4 単位）	3. 科目番号	SSMP7202
2. 授業担当教員	水島 正浩		
4. 授業形態	講義、討論、事例研究、グループワーク	5. 開講学期	通年
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	ソーシャルワークの誕生から今日までの発展に至る歴史的展開について概観した上で、その過程で生じた体系化や統合化に関する理解とその意義について考察を深める。さらに体系化に影響を及ぼした主要理論である精神分析論・意志心理学、認知・行動理論等、統合化に影響を及ぼした主要理論であるシステム理論、エンパワメント理論等（関連する理論や理念、主義、運動、技術、アプローチ等を含む）を理解した上で、それらの理論を援用する研究論文の探索・分析等を行い、研究の動向を掴むとともに、自身の博士課程における研究に活用できるよう考察を深める。		
8. 学習目標	1) ソーシャルワーク理論の誕生から今日までの発展に至る歴史的展開について概観する。 2) ソーシャルワーク理論の体系化及び統合化に関する理解とその意義について考察を深める。 3) 体系化に影響を及ぼした主要理論（精神分析論・意志心理学）、関連する理念や主義等を理解する。 4) 体系化に影響を及ぼした主要理論（認知理論・行動理論）、関連する理論やアプローチ等を理解する。 5) 統合化に影響を及ぼした主要理論（システム論）、関連する理論や技術等を理解する。 6) 統合化に影響を及ぼした主要理論（エンパワメント理論）、関連する運動やアプローチ等を理解する。 7) 上記3）から6）までの理論等を援用する研究論文の探索・分析を行い、考察を深める。		
9. アサイメント（宿題）及びレポート課題	1) 理論に関する探索や作業、発表を行い、討論を行う。 2) 援用する研究論文の探索や分析、発表を行い、討論を行う。 3) 各理論の考察を深め、課題の作成を行う。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】レジュメ＋資料 【参考文献】 平山尚、平山佳須美、黒木保博、宮岡京子『社会福祉実践の新潮流：エコロジカル・システム・アプローチ』ミネルヴァ書房、1998。 平山尚、武田丈『人間行動と社会環境：社会福祉実践の基礎科学』ミネルヴァ書房、2000。 日本ソーシャルワーク教育学校連盟『ソーシャルワークの基盤と専門職（最新社会福祉士精神保健福祉士養成講座共通・社会専門 11）』 日本ソーシャルワーク教育学校連盟『ソーシャルワークの理論と方法[共通科目]（最新社会福祉士精神保健福祉士養成講座 12）』 日本ソーシャルワーク教育学校連盟『ソーシャルワークの理論と方法[社会専門]（最新社会福祉士養成講座 6）』 川村隆彦『ソーシャルワーカーの力量を高める理論・アプローチ』中央法規、2011。 フランシス・J・ターナー編 北島英治監訳 上田洋介訳『ソーシャルワーク・トリートメント第 6 版』中央法規、2023。 その他必要に応じて示唆をする。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 授業中での作業・発表 ディスカッション・課題 ○評定の方法 作業・発表 50% 課題 50%		
12. 受講生へのメッセージ	○ 大学院学則を遵守すること。 ○ 常に専門的実践家・研究者としての知識と力量を育成するための努力をすること。 ○ ソーシャルワークを学ぶ上で必要な知識・技術・研究の動向への探索を怠らないこと。		
13. オフィスアワー	別途連絡する		
14. 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】			
1～2. テーマ	ソーシャルワーク理論の理解と各人の研究テーマとの関連性等を確認し、学習への動機を高める		
【学習の目標・内容・課題・ポイント】 1. ソーシャルワーク理論の理解を確認し、今後の展開、スケジュールについて確認する。 2. 各人の研究テーマとの関連性等を確認し、それらを踏まえ、学習への動機を高める。 ※各学生の受講を始める学期の状況を踏まえて内容を調整する。			
3～4. テーマ	ソーシャルワーク理論の誕生から今日までの発展に至る歴史的展開について概観する。		

【学習の目標・内容・課題・ポイント】 1. ソーシャルワーク理論の誕生から体系化に至るまでの過程を理解し、その背景にある理論等を確認する。 2. ソーシャルワーク理論の体系化から今日に至るまでの過程を理解し、その背景にある理論等を確認する。 ※各学生の受講を始める学期の状況を踏まえて内容を調整する。	
5～9. テーマ	体系化に影響を及ぼした主要理論（精神分析論・意志心理学）、関連する理念や主義等を理解する
【学習の目標・内容・課題・ポイント】 1. 精神分析論・意志心理学、関連する理念や主義等を資料等で概観し、キーワードの探索・作業・発表・討論等を行って理解を深める。 2. 援用する研究論文の探索・分析、発表を行い、討論を行って考察を深める。 3. 理論や関連理念、主義等の考察を深め、課題の作成を行う。	
10～15. テーマ	体系化に影響を及ぼした主要理論（認知理論・行動理論）、関連する理論やアプローチ等を理解する。
【学習の目標・内容・課題・ポイント】 1. 認知理論・行動理論）、関連する理論やアプローチ等を資料等で概観し、キーワードの探索・作業・発表・討論等を行って理解を深める。 2. 援用する研究論文の探索・分析、発表を行い、討論を行って考察を深める。 3. 理論や関連理論、アプローチ等の考察を深め、課題の作成を行う。	
16～17. テーマ	ソーシャルワーク理論の理解と各人の研究テーマとの関連性等を確認し、学習への動機を高める。
【学習の目標・内容・課題・ポイント】 1. ソーシャルワーク理論の理解を確認し、今後の展開、スケジュールについて確認する。 2. 各人の研究テーマとの関連性等を確認し、それらを踏まえ、学習への動機を高める。 ※各学生の受講を始める学期の状況を踏まえて内容を調整する。	
18～19. テーマ	ソーシャルワーク理論の誕生から今日までの発展に至る歴史的展開について概観する。
【学習の目標・内容・課題・ポイント】 1. ソーシャルワーク理論の誕生から体系化に至るまでの過程を理解し、その背景にある理論等を確認する。 2. ソーシャルワーク理論の体系化から今日に至るまでの過程を理解し、その背景にある理論等を確認する。 ※各学生の受講を始める学期の状況を踏まえて内容を調整する。	
20～25. テーマ	統合化に影響を及ぼした主要理論（システム論）、関連する理論や技術等を理解する。
【学習の目標・内容・課題・ポイント】 1. システム論や関連する理論、技術等を資料等で概観し、キーワードの探索・作業・発表・討論等を行って理解を深める。 2. 援用する研究論文の探索・分析、発表を行い、討論を行って考察を深める。 3. 理論や関連理論、技術等の考察を深め、課題の作成を行う。	
26～30. テーマ	統合化に影響を及ぼした主要理論（エンパワメント理論）、関連する運動やアプローチ等を理解する。
【学習の目標・内容・課題・ポイント】 1. エンパワメント理論や関連する運動、アプローチ等を資料等で概観し、キーワードの探索・作業・発表・討論等を行って理解を深める。 2. 援用する研究論文の探索・分析、発表を行い、討論を行って考察を深める。 3. 理論や関連運動、アプローチ等の考察を深め、課題の作成を行う。	